

「伝えるアートプロジェクト」2017

(宮城県仙台市、石巻市、(熊本)他)

一般社団法人MMIX Lab(ミミックス ラボ)

(様式第3号)タイプ1, 2申請用
平成29年度宮城県文化芸術の力による
心の復興支援助成金 事業計画書(3)

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要:取組全体の目的・概要:宮城県仙台市のあすと長町災害公営住宅第1、第2、第3での同窓会的交流の場づくりとして住民参加の食や歌、民話、アートワークショップなどに伴走型の支援活動は住民からの要望も高く、継続実施し、新たなコミュニティ構築と復興リーダー人材育成及び復興支援の活動拠点整備を行う。また震災以後、支援活動を細々と行っている個人、団体はあるが支援のノウハウや人脈がない。復興地のコミュニティを再生させる事業を伴走型で行い、復興支援リーダーの人材育成とコミュニティ構築を目的とする。

取組の効果・特徴::宮城県では仮設住宅や災害公営住宅での孤立やうつ、孤独死が止まらない。仮設住宅から災害公営住宅へと転居が進み、住環境は整いつつあるが、被災住民に対しては孤立やうつ、孤独死などを回避するような心のケアが今こそ必要である。不安を感じている被災住民からも住民主体の交流型事業の継続依頼は多く、復興地に拠点を置く団体でなければできない被災住民との伴走型の支援ができるのが本事業の特徴である。また蓄積されたコミュニティ構築のノウハウを活かし次世代の復興支援リーダーの人材育成ができる。

取組内容

平成29年度 「心の復興」事業

【取組①「事業名:おしるこカフェ」実施主体:一般社団法人MMIX Lab】

5月-2018年3月中旬まで、仙台あすと長町災害公営住宅の集会所内でのコミュニティ構築のために住民参加交流型の食やアートを通したワークショップなどを毎月1回計11回企画実施。第1~第3までの災害公営住宅住民のコミュニティ構築やと旧あすと長町仮設住宅住民の情報交換などを毎回行う。

10月: 災害公営住宅近隣のまち住民と連携した被災住民交流型の事業を実施。



【取組②「事業名:アートポンプ計画」実施主体:一般社団法人MMIX Lab】

震災コンテンツ展示やワークショップ等を石巻や東京等で被災者や一般市民を対象として実施する。また蓄積された復興支援のノウハウを復興支援のDVD(おしるこカフェのつくり方)などを宮城県内の災害公営住宅や熊本の仮設住宅等に送り、被災住民交流型の支援事業や震災を風化させない事業を実施する。また次世代復興支援リーダー人材育成事業にも繋がる復興支援活動を実施する。

2018年2月:埼玉杉戸町(福島からの避難者含む)、東京新宿等で活動を紹介し震災を伝える事業を実施。



次年度以降の展開

○仙台の災害公営住宅の住民交流事業が整うように被災住民等との情報交換を継続する。

○コミュニティ構築のノウハウ等を共有しながら被災住民と役割分担をし、自治会が整い、住民主導で活動ができるようコミュニティ構築支援事業をできれば2021年3月末までは継続する。また次世代の支援団体リーダー等に支援のノウハウを伝授し、復興地に拠点を置く支援団体等が自立支援できるよう協働での活動は伴走型でその後も続ける予定である。